

1学年校内研究発表会

2025年9月26日 場所：都立科学技術高等学校

9月27日に行われた千葉大学主催の「第19回高校生理科研究発表会」には、入学して半年の1年生も参加しました。入学後、**部活動や大学との連携を通じて研究活動に取り組んできた5名の生徒**が成果を発表しました。今回は初めての大きな発表会であるため、1学年の生徒向けの校内研究発表会を行いました。練習を兼ねての発表でしたが、**多くの1年生が参加し、活発な意見交換が行われました**。発表者は本番を想定した良い経験となり、発表を聞いた生徒にとっても大きな刺激になったと思います。

1学年の生徒の研究テーマ一覧

「VR技術を用いた安価な触覚再現デバイスの提案」

「猿江恩賜公園における鳥類相と環境利用」

「ヤモリのファンデルワース力と物質と歩幅の関係」

「合成音声における周波数解析と復元の可能性」

第19回高校生理科研究発表会に参加した1年生の感想

「クラスの前で発表したときは、わかりやすく説明しようとした結果、何を話すか内容が全て飛んでしまいました。その反省を生かして、千葉大学の発表会では、**事前にポスターのコピーを何度も読んでしっかりと準備**してからやりました。発表するときは周りの声で自分の声が聞こえにくくなるので、**大きい声で堂々と話すこと**を心掛けました。そうすることで自分が話している内容を把握しながら、今から話す内容を整理できるのでお勧めです。全ての文を覚えようとせず、できればグラフのデータとかを覚えておくことで、脳内に刻み込まれた**研究のデータをグラフを手掛かりに話すべき内容を思い出したり**、相手のレベルに合わせて発表ができたりするので、複雑な内容の発表を行う際はグラフのデータを覚えておけばいいと思います。」

「今回の千葉大学の発表や校内研究発表会に参加して考えたことが二つあります。一つ目は、**発表をやったことで改善点ができた**ことです。ファンデルワールス力についての実験だったのですが、この力についての説明が疎かになってしまっていて、沢山の質問をもらいました。また、実験結果のデータ不足により、実験に対する質問が少なくなっていました。二つ目は、**今後の研究について**です。今回までは、データが足りていないため、考察することができなかったのですが、継続してデータをとっていきたいです。」



発表の様子（ポスター部分にぼかしを入れています。）